

学校教育課グラン

令和4年度 北本市教育委員会



第2期北本市教育振興基本計画 「 共に学び 未来を拓く 北本の教育 」

基本目標I 確かな学力と自立する力の育成 基本目標Ⅲ 質の高い学校教育の推進

基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成 基本目標Ⅳ 家庭・地域の教育力の向上

多様なニーズに対応した教育・一人一人の学力を伸ばす教育の推進

特別支援教育の充実

◆特別支援学級設置率100%

市内全小・中学校に特別支援学級を設置しています。 全ての児童生徒一人一人に合った支援を行っています。

◆通級指導教室を市内3校に設置

児童生徒が学習・生活面で抱える困難を改善・解消 するため、一人一人に応じた指導を行っています。小学 校2校、中学校1校に設置しています。

登校支援

◆ほっとルーム (学習支援室) を3中学校に設置 集団での学習が苦手な生徒に対して、個別の学習支 援とともに学級への段階的な復帰を促します。中学校 3校に設置し、学習支援室講師を配置しています。





深い学びし を実現する 授業改善

「主体的

対話的で

GIGAスクール構想の推進

環境整備

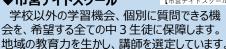
- ◆学習用端末(全児童生徒1人1台分) 学校でも自宅でもネットワークを介して使用できます。
- ◆高速大容量の通信ネットワーク設備 普通・特別教室、特別支援学級にアクセスポイントを整備しています。
- ◆電子黒板・モバイル書画カメラ
- 6 5インチの大型電子黒板で、新しい学び方を推進します。

学力を伸ばす充実した補習事業

◆小学校·中学校補習事業

市内全小・中学校で土曜 日や長期休業日を活用した 補習を実施しています。

◆市営ナイトスクール



心豊かでたくましく生き抜く力を育む教育

【体力向上·健康教育】

- ◆学校水泳指導民間委託(全中学校
- ◆自校給食によるアレルギー対応 (全小·中学校)

【心の教育】

- ◆こころの教育推進事業
- ◆クラスコンサート(全小学校)
- ◆hyper-QUの活用(小4~中3)

よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート(図書文化社・河村茂雄著)







ICT機器の効果的な利活用

◆各々が学習の主役に

Google for Educationのアプリ等を活用する中で、主体 的・対話的で深い学びをさらに推進させます。

◆未来を担う人材の育成

刻々と変化する社会を生き抜く力を、ICT機器の利活用と 共に育成します。物事に様々な角度からアプローチし、課題解 決を図ります。

教職員ICT活用力向上をサポート

- ◆スキルアップ研修会の実施
- ◆ICT支援員を1名配置(各校へ巡回)

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)

学習指導要領に示されている「地域とともにある学校」を目 指し、学校・家庭・地域の連携・協働をさらに進展させた、コ

ミュニティ・スクールを市内全校に設 置しています。

地域の未来を担う子どもたちの健全 な育成のため、学校・家庭・地域が一 体となって「熟議」を重ね、「協働」によ る取組を進めていきます。



学びを支える市費会計年度任用職員

1名

- ◇学校4・3・2 制非常勤講師 9名
- ◇小学校学力向上支援員 各校2~3名(計15名)
- ◇特別支援教育支援員 各校1~4名(計26名) 各校1名(計11名) ◇学校図書館指導員
- ◇ほっとルーム(学習支援室)講師
- ◇中学校さわやか相談員 各校1名(計4名)
- ◇スクールソーシャルワーカー 2名

◇ICT支援員

◇スクール・サポート・スタッフ

教職員資質向上の取組

◆学びジョンプロジェクト

教員の授業力の向上、児童生徒の学力向上を目指した教育実 践等をとおして、本市の教育課題の解決を図ります。

◆生徒指導·教育相談中級研修会

校内の生徒指導・教育相談の推進者を育成し、明るく安心して 学べる学校づくりを積極的に行っています。

◆特別支援学校免許取得の推進

専門性の高い人材を育成し、多様な教育的ニーズに対応しなが ら、特別支援教育の充実を図ります。